

2018. 7. 13

患者のための薬局ビジョン推進会議について

栃木県保健福祉部薬務課

§ 患者のための薬局ビジョン実現に向けて

「患者のための薬局ビジョン～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～」 H27. 10. 23厚生労働省

- 薬局ビジョンは、経済財政諮問会議や骨太の方針を受け、患者本位の医薬分業の実現に向けて、今後の姿として薬局が持つべき3つの機能を柱として明らかにするとともに、中長期的視野に立って現在の薬局をかかりつけ薬局に再編する道筋を提示した。
- * 3つの機能：①服薬情報の一元的・継続的把握、②24時間対応・在宅対応、③医療機関との連携

ビジョンの基本的考え

その1 バラバラから一つへ

- 患者は、服薬情報が一つにまとまり、飲み合わせの確認など安心できる薬物療法を受けられることができる。

その2 立地から機能へ

- 門前薬局などの立地の便利さだけで選択される存在から脱却し、在宅対応などの様々な患者ニーズに対応できる機能を通じて選択してもらう。

その3 対物業務から対人業務へ

- 専門性などの向上を通じ、住民等との関わりの高い対人業務へシフトを図る。

2025年までの目標

- すべての薬局が「かかりつけ薬局」としての機能を持つことを目指す。

§ 患者のための薬局ビジョン推進事業について（H30概算要求資料）

平成30年度 患者のための薬局ビジョン推進事業（要求額：2億3,813万円 約5,000万増）

- ビジョンに基づき、医薬分業の原点に立ち返り、全国の薬局が受け身の調剤業務偏重から脱却して、かかりつけ薬局として地域包括ケア等に貢献できるよう、24時間対応や在宅対応等における地域の薬局間での連携体制の構築のための取組や、健康サポート機能の更なる強化に向けた先進的な取組など、薬局のかかりつけ機能の強化のためのモデル事業等を実施する。
- 平成30年度は、これまでの成果も踏まえてモデル事業テーマを見直し、地域連携を担う人材育成を推進する。

テーマ別モデル事業

①多職種連携による薬局の在宅医療サービス等の推進事業

- かかりつけ医を中心に多職種連携を図りつつ、患者の服薬情報・副作用等の情報連携や在宅医療サービスを提供する取組等を推進する。

②ICTを活用した地域の先進的な健康サポート推進事業

- 電子版お薬手帳を含めたICTの活用を地域の中で推進し、様々な健康情報（食事・運動情報）と服薬情報等をリンクさせ、総合的な健康サポート機能の充実を図る。

③薬局・薬剤師による健康サポート推進事業

- 地域において健康サポート機能を有する薬局の取組を推進するため、多様な機関、他職種との連携や、お薬・健康相談などを実施する。

④薬局薬剤師と病院薬剤師の連携（薬薬連携）等の地域連携を担う人材育成事業＜H30年度新規事業＞

- 薬局薬剤師が医療機関において（又は病院薬剤師が薬局において）研修を行うことなどにより、地域におけるチーム医療の一員として必要な知見や能力を充実・強化させ、地域における外来化学療法等に係る人材を育成する。

§ 本県の課題と事業による効果

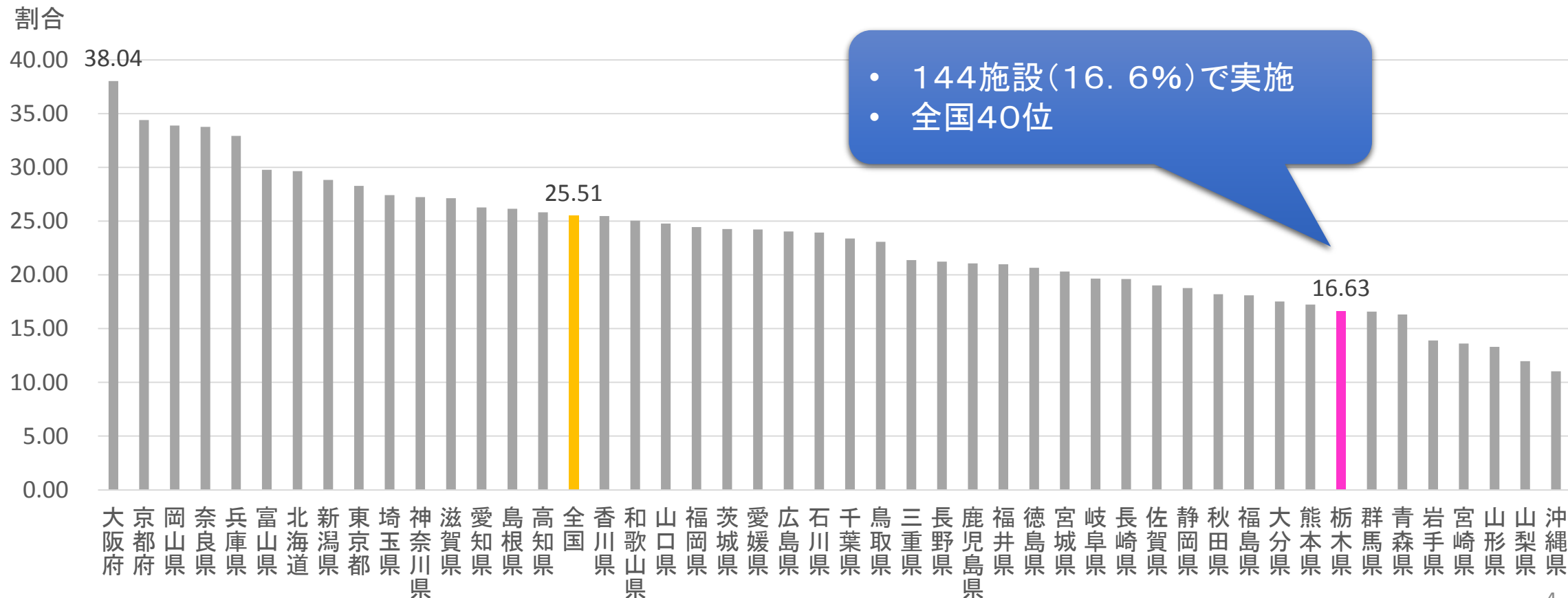
課題

【県保健医療計画(7期計画)における目標】

- 在宅患者調剤加算を届出ている薬局数の増加
- 2020年度までに220施設(約25%)を目指す

○在宅医療へ参画している薬局の割合が全国低位の状況となっている。

在宅患者調剤加算を算定した薬局の割合（厚生労働省 施設基準の届出状況（H30.4.1）及び衛生行政報告例から栃木県作成）



薬局の在宅医療ファーストステップ事業 (H30年度モデル事業)

目的

- 地域包括ケアシステムの中で、かかりつけ薬剤師・薬局が地域のチーム医療の一員として、服薬情報の一元的・継続的な把握や在宅での対応を含む薬学的管理・指導等の機能を果たすためのスキルアップを目的とする。

本県が取り組むモデル事業

基礎作り

I 薬局ビジョン推進のための多職種連携ネットワークの構築

在宅医療推進協議会を活用して「患者のための薬局ビジョン推進会議」を開催

II 市町・関係専門職種への薬剤師業務PR事業

実践

III 在宅訪問薬剤師の人材育成事業

IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業

栃木県薬剤師会に委託し、モデル地区8カ所（宇都宮・鹿沼・日光・小山・栃木・大田原・足利・佐野）の地域薬剤師会が実施

<セカンド ステップ>

H31年度以降 県全体への展開を目指す！

§ 栃木県が取り組むモデル事業の概要

基礎作り
実践

I 薬局ビジョン推進のための多職種連携ネットワークの構築

「患者のための薬局ビジョン」を推進するため、関係市町及び多職種の関係団体間の緊密なネットワークを構築することを目的に、「患者のための薬局ビジョン推進会議」を設置する。

II 関係専門職種への薬剤師業務PR事業

在宅医療・介護連携を推進する市町が実施する在宅に関する研修会や訪問看護師・ケアマネジャー等の多職種が実施する研修会等の機会を捉え、市町及び関係専門職種と薬剤師の連携が密になるよう薬剤師業務のPRを行う。

*PR内容:嚥下困難者への服薬方法の検討など

III 在宅訪問薬剤師の人材育成事業

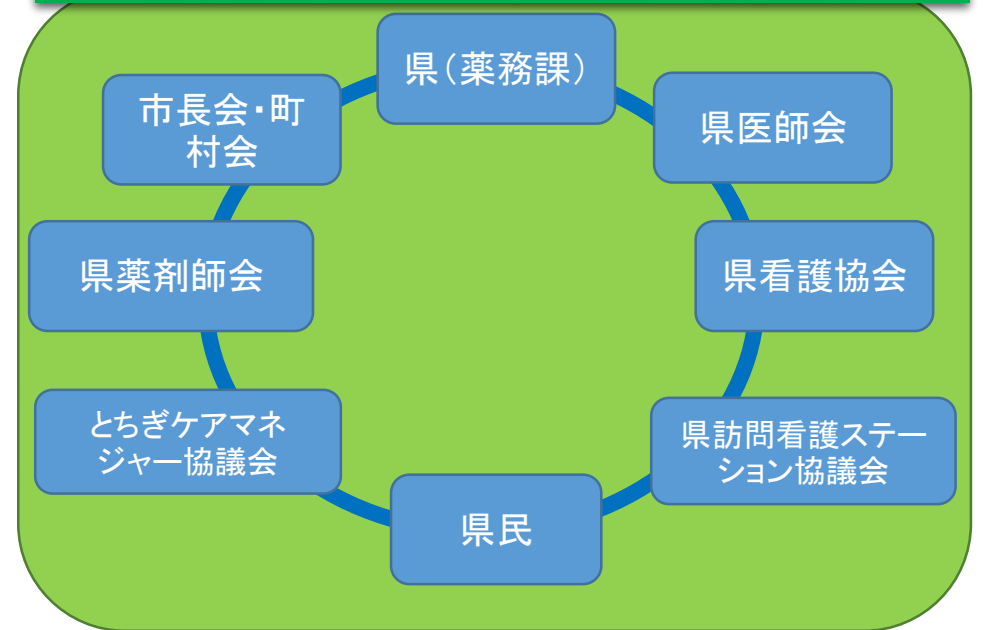
在宅訪問の経験がない又は経験の浅い薬剤師が、在宅訪問の経験豊富な薬剤師に同行し、OJTで指導・助言を行う実践形式の研修を行う。

IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業

在宅医療を受けている患者で薬学的管理に問題がみられる場合に、在宅医からの指示や薬剤師の気づきに加えて、訪問看護師やケアマネジャー等多職種から薬局に情報提供をしてもらい、薬剤師がかかりつけ医の了解のもと、患者宅に訪問する。

患者のための薬局ビジョン推進会議

栃木県在宅医療推進協議会の場を活用



II 関係専門職種への薬剤師業務PR事業

III 在宅訪問薬剤師の人材育成事業

IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業

事業

§ 栃木県が取り組むモデル事業の概要（基礎作り事業）

I 薬局ビジョン推進のための多職種連携ネットワークの構築

「患者のための薬局ビジョン」を推進するため、関係市町及び多職種の関係団体間の緊密なネットワークを構築することを目的に、「患者のための薬局ビジョン推進会議」を設置する。

本会議体により円滑に事業を実施し、事業効果の検証を行うとともに、県全体への展開を検討する。

【患者のための薬局ビジョン推進会議の設置】

○実施主体

- ・ 栃木県（事務局：薬務課）

○構成機関及び団体

- ・ モデル地区の市町、県医師会、県薬剤師会、県看護協会、県訪問看護ステーション協議会、とちぎケアマネジャー協議会、県民

○内容

- ・ 事業実施に向けた情報共有
- ・ 事業効果の検証及び課題の抽出
- ・ 県全体への展開を図るための方策の検討

II 市町・関係専門職種への薬剤師業務PR事業

在宅医療・介護連携を推進する市町が実施する在宅に関する研修会や訪問看護師・ケアマネジャー等の多職種が実施する研修会等の機会を捉え、市町及び関係専門職種と薬剤師の連携が密になるよう薬剤師業務のPRを行うとともに、「顔の見える関係」を構築する。



○実施主体

- ・ 県薬剤師会
- 参加依頼機関・団体
 - ・ 訪問看護師、ケアマネジャー関係団体
 - ・ モデル地区の市町在宅事業所管課

○PR内容

- ・ 在宅における薬剤師の役割について
- ・ 嚥下困難者への服薬方法の検討
- ・ 実践事業（事業Ⅲ・Ⅳ）の実施に向けた事業協力依頼

○啓発資材

- ・ 在宅訪問薬剤管理指導関係のパンフレット等テーマによって適宜作成

○その他

- ・ 多職種が開催する研修会への参加することを基本とする。
- ・ 県薬剤師会が主催者となって多職種参加型の研修会の実施も検討する。（単なる座学ではなく、グループ討議の内容を検討する。）

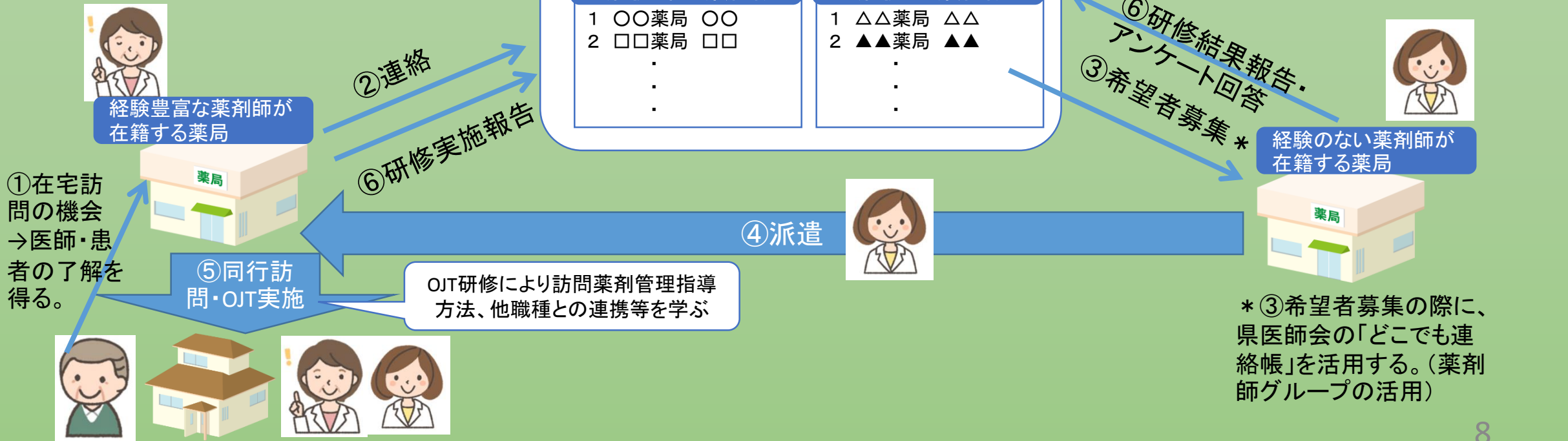
§ 栃木県が取り組むモデル事業の概要（実践的事業）

Ⅲ 在宅訪問薬剤師の人材育成事業

在宅訪問の経験がない又は経験の浅い薬剤師が、在宅訪問の経験豊富な薬剤師に同行し、OJTで指導・助言を行う実践形式の研修を行う。

講師薬剤師が担当する在宅患者宅に訪問する

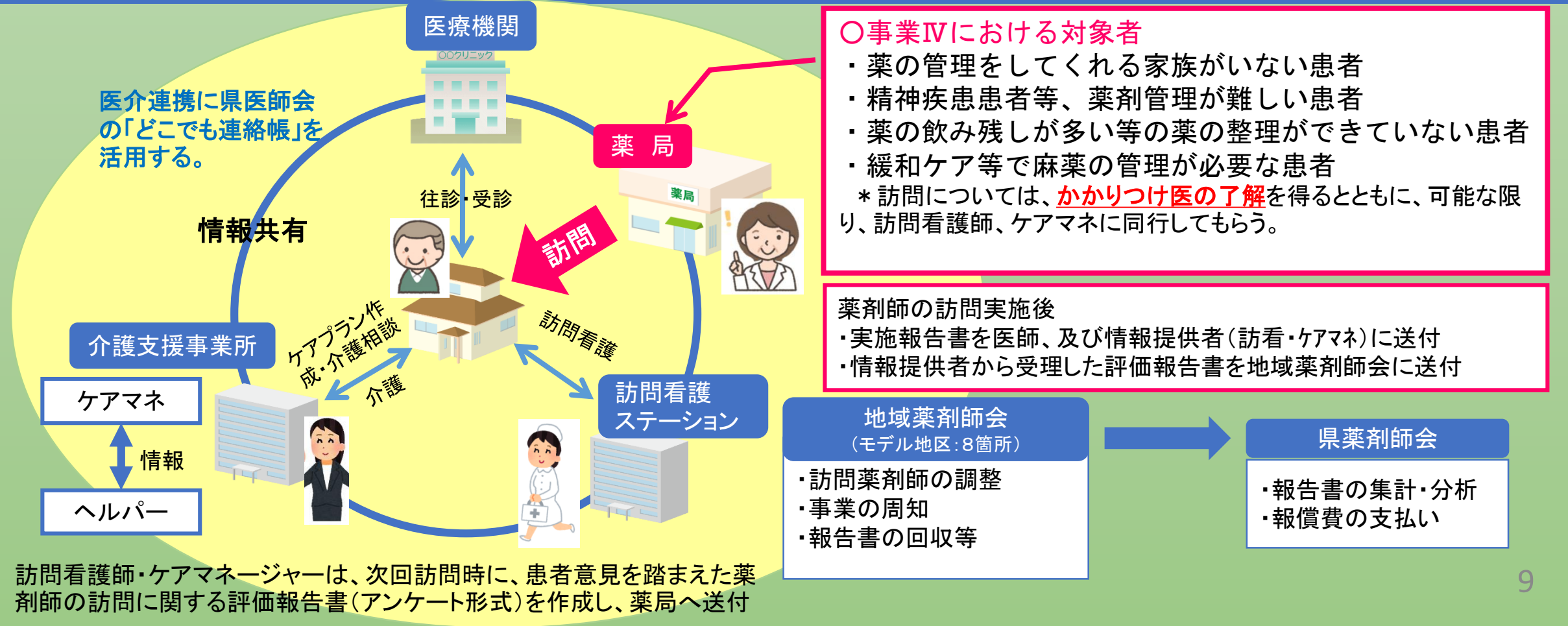
対象：既に在宅へ訪問している患者



§ 栃木県が取り組むモデル事業の概要（実践的事業）

IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業

在宅医療を受けている患者で薬学的管理に問題がみられる場合に、在宅医からの指示（**保険適用となる場合は本事業対象外**）や薬剤師の気づきに加えて、訪問看護師やケアマネジャー等多職種から薬局（地域薬剤師会の担当者）に情報提供をしてもらい、薬剤師がかかりつけ医の了解のもと、患者宅に訪問する。



事業スケジュールについて

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | | | |
|--------------------|----------------------------------|----------------|---|--|--|---|
| | | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 |
| モデル事業採択に係る国のスケジュール | | 国への事業応募書の提出 | <ul style="list-style-type: none"> ・5月17日: 基準額通知の受理(内示) ・6月13日: 交付申請 ・9月下旬: 交付決定 | | | |
| 栃木県が取り組むモデル事業 | I 薬局ビジョン推進のための多職種連携ネットワークの構築 | 2月 関係団体連絡会議 | <ul style="list-style-type: none"> 医師、訪問看護師、ケアマネの団体が出席 →情報共有を行った。 | | 7月 会議 | 3月 会議 |
| | II 市町・関係専門職種への薬剤師業務PR事業(7月～7ヶ月間) | 関係機関との調整 | PR内容検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・多職種研修会への参加要請、研修会開催準備 | <ul style="list-style-type: none"> ・7月から1月まで事業実施 | |
| | III 在宅訪問薬剤師の人材育成事業(7月～8ヶ月間) | 関係機関との調整 | | <ul style="list-style-type: none"> ・参加薬局取りまとめ、講師・受講者リスト作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・7月から2月まで事業実施 | |
| | IV 薬剤師訪問ファーストステップ事業(10月頃～5ヶ月間) | 関係機関との調整 | | <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成、市民講座開催準備等 | <ul style="list-style-type: none"> この3ヶ月間で在宅訪問薬剤師を増加させる | <ul style="list-style-type: none"> ・10月頃から2月まで事業実施 |

契約締結

事業評価・報告書作成

| 地 域 | | 会 長 名 | 担当者名 | 担当者連絡先 | 担当者TEL/FAX |
|-----|----------------------------|---------------------|-------|------------------------------|------------------------------|
| 大田原 | 大田原市・那須塩原市 (旧西那須野町・塩原町) | 松本 亨 (まつや薬局) | 永山 寛 | 大田原市美原2-3197-18 とちぎ薬局美原店 | 0287-48-7679 0287-48-7649 |
| 鹿 沼 | 鹿沼市 | 下妻 和彦 (つくも薬局) | 加藤 壮 | 鹿沼市上田町2338-2 つくも薬局ヤオハン北部店 | 0289-77-5167 0289-77-5168 |
| 日 光 | 日光市 | 和貝 益男 (フタバ快生堂薬局) | 菅谷 忠久 | 日光市瀬尾498-3 ファーコス薬局せのお | 0288-22-8515 0288-22-8517 |
| 宇都宮 | 宇都宮市 | 石崎 一郎 (石崎薬局) | 大橋 眞次 | 宇都宮市西3-1-11 ハーモニー薬局 | 028-651-3217 028-651-3218 |
| 小 山 | 小山市・上三川町・野木町 | 山田 利信 (銀星薬局喜沢店) | 米澤 明 | 小山市花垣町1-4-40 あおば薬局 | 0285-22-7111 0285-22-7121 |
| 栃 木 | 栃木市・壬生町 | 牛久 幸泰 (ウシク薬局箱森店) | 生井 栄佑 | 壬生町中央町10-12 みぶ薬局 | 0282-25-6588 0282-82-8844 |
| 佐 野 | 佐野市 | 平田 義人 (平田薬局) | 平田 義人 | 佐野市君田町30-3 平田薬局 | 0283-20-1711 0283-20-1712 |
| 足 利 | 足利市 | 小嶋 慎二 (コジマ薬局) | 加納 行健 | 足利市千歳町66-2 ファーコス薬局レインボー | 0284-40-3385 0284-40-3386 |